

灯火を製造し続けて27年、 エイチ・エス・リンクが新製品の販売開始

航空灯火 591 セット 6600 基の実績

航空灯火を製造している(有)エイチ・エス・リンク(棕浦誠一代表)は、創業27周年を迎えて、今年の1月にこれまでの顧客に対するメンテナンスと新たな商品開発の目的で、「防災工房」という新会社を設立した。

また同社の製造するリンクライト航空灯火の部品製造委託先6社の協力も得て、下町ロケットならぬ「下町ライト」という、これまでの商品の見直しや新規開発を行うプロジェクトを立ち上げた。

これまでの27年間では、飛ぶ側、設置する側、保管管理する側の全ての目線で設計・製造して、常に顧客の意見を取り入れて開発をしてきた。

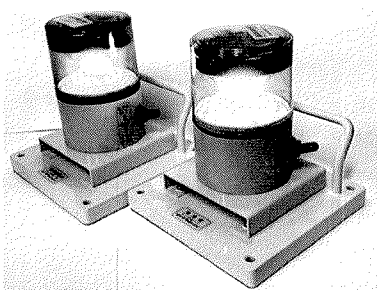
ケーブル式から始まり、乾電池式、充電式へと進化して、現在では飛行場用の非常用滑走路灯と末端灯を製造までに成長し、これまでに591セット、6600基を販売した。

現在販売している製品について

1) リンクライト DC (ドライシエル)

〈乾電池式灯火〉

現在最も注文の多い製品はリンクライトDC(ドライシエル)で、国内で初めて単3乾電池を使用した簡易型夜間灯火。離島などで高齢者でも使用



リンクライト DC

できるように工夫された製品。

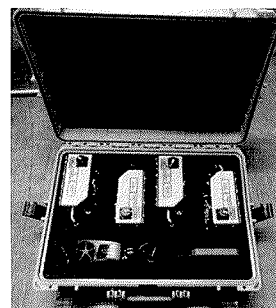
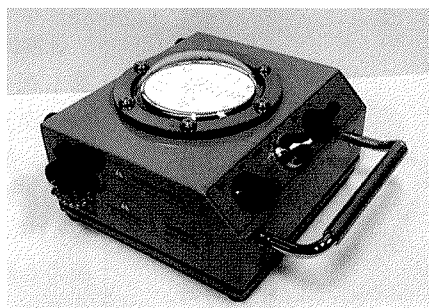
故障の原因となるリモコンは使用しないシンプルな構造が特徴。乾電池を入れたままで20年間の保管に耐えられる。警察関係や離島への救急搬送、孤立集落対策として都道府県の防災センターで、これまでに123セットが採用されている。設置性や安全性向上のため、設置場所へのマーキングや目印を埋め込む等の作業支援も請け負う。乾電池式リンクライトシリーズの境界灯と境界誘導灯の保証期間は5年。

2) リンクライト Sirius (シリウス)

〈充電式灯火〉

次にヘリポートや飛行場用として、防衛省等で168基が採用されたリンクライト Sirius(シリウス)充電式灯火は、大型ジェット機のジェットブラストやV-22オスプレイの離着陸にも耐えられる設計になっている。

ヘリポート用としては充電式着陸灯(4色+赤外線+リモコンほか)、進入角指示灯(可視+暗視用一体型)、ストロボ式位置表示灯など各種取り揃えている。一方飛行場用としては非常用滑走路灯(白)、非常用滑走路末端灯(赤/緑)がある。価格は全てが含まれるフルセットから、50万円を切るセットまで、運航機関の要望に合わせて選べる灯火が用意されている。

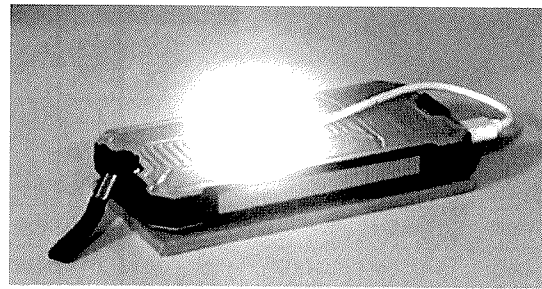


リンクライト Sirius (左) と Sirius セット (右)

リンクライト Flat



リンクライト Pocket



新製品の紹介

4月以降には下記のような新たな製品も販売開始予定とのこと。

1) リンクライト FLAT (フラット)

〈乾電池式夜間灯火〉

主な特徴として①レンズは飛び石による破損を避けるため特殊な形状と材質を使用している、②LEDを平面配置して、全周360度の高い視認性を確保した、③緑色と黄色の切り替えが可能で、これにより運用の幅が広がった(オプションとして白色・赤外線IRの追加も可能)。

2) リンクライト Pocket (ポケット)

〈モバイルバッテリー式夜間灯火〉

ポケットに入る程度の小型灯火。

3) リンクライト update (アップデート)

過去に購入した顧客に対して、ケーブル式夜間灯火(約270セット)を乾電池式に組み替える事業を開始する。

また前述した防災工房では、電源を必要としない夜間着陸支援装置の開発に着手、乾電池式と組み合わせたハイブリッドタイプのテストも開始し、これまでに好結果を得ている。

同社の椋浦代表はヘリのパイロットで、阪神淡路大震災では緊急支援物資を無償で被災地に空輸した経験から、夜間航空灯火の必要性和問題点を研究し、今日の製品に結びつけている。これまで27年間積み重ねた技術と経験を生かし、今後も安心安全で安価な灯火提供のためさらなる努力をしていく、とのこと。

ドクターヘリ用の夜間灯火について

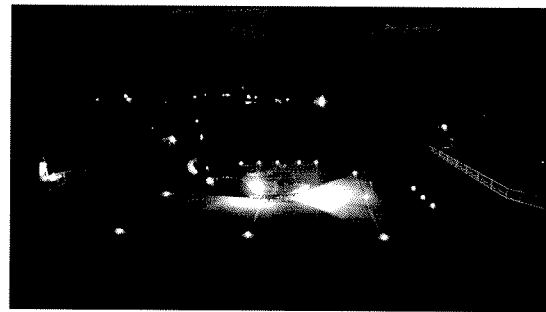
ドクターヘリは関係機関のご努力により、めざましい発展を遂げ多くの命が救われてきました。

私共もドクターヘリ導入後に専用で機動性の高い照明機材で、且つ安価な製品の開発を進めてきましたが、現在、ドクターヘリの夜間運航は空港や安全に整備された病院屋上及び基地病院への薄暮の時間帯の帰投に限られていると考えています。

ドクターヘリの関係者に色々と聞き取らせて頂いたところ、夜間運航に対応可能な周辺空域も含めた安全なヘリポートの確保や、操縦士の確保、定期的な夜間訓練、運航可能な時間帯や騒音対策等々運航関係だけでも課題は山積していると感じました。

私共は灯火さえ有れば、すぐにどこでも夜間運航ができるなどと軽々しく考えてはいません。

ドクターヘリに特化した積極的な営業は差し控えつつ、運航準備が整った時にご利用頂ける機材



の開発と供給体制の構築が私たちの使命だと考えています。

弊社ではドクターヘリの運航機種や運用形態を勘案した簡易なもので、且つ、安全な灯火を安価でご提供が可能です。将来、灯火が必要になった時には、今まで積み重ねた経験と技術の全てをご提供させていただきます。

(有)エイチ・エス・リンク(防災工房)

TEL:06-6700-2327 E-mail:hzn00535@nifty.com

ホームページ: <http://www.hslink.biz/>